



の がき 野垣あきこ とまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2025年2月26日 No.212 連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

杉並区議会第1回定例会

杉並区が会計年度任用職員の処遇改善 雇用年限を撤廃へ



2月12日、党区議団は代表質問で、会計年度任用職員の処遇改善について取り上げ、雇用年限の撤廃などを確認しました。
岸本区政のもと 会計年度任用職員の処遇改善進む

会計年度任用職員は1年間（4月1日～3月31日）の任用で毎年更新する必要がある、杉並区は更新回数の上限が5回までとなっていました。（6年間は試験を受けずに契約が更新できるが、人事評価はある）この「雇用年限」の制度があるために、6回目以降は公募に申し込みをして任用試験を受ける必要があり、経験やスキルのある職員でも職を失う可能性があるという不安定な環境で働かざるを得ませんでした。

昨年6月に人事院は任用回数の上限の努力義務を廃止し、総務省もマニュアルから上限回数

を削除しました。区は職員団体との協議を重ね、再度任用の上限を撤廃することとしました。23区でも文京区、板橋区、練馬区などで雇用年限の撤廃が進んでいます。職員団体が長年要望し、議会でも複数の会派が求めてきたことです。

今後も処遇改善に努める

具体的には、来年度中に規則改正を行い、同年度末に雇用年限が到来する職員から制度が適用されることとなります。岸本区長のもとで、この間、会計年度任用職員の処遇改善が進んできました。今年度から児童館で働く児童指導の職員、保育、部活動指導員、介護認定調査員の報酬が引き上げられました。

「子育て部分休暇」とは？

小学校入学前の子をもつ地方公務員が、1日の勤務時間の一部を勤務しないことができる制度で「地方公務員の育児休業等に関する法律の第19条」で定められている。出産した女性だけでなく、その配偶者の男性職員も休業の対象。部分休業を取得できるのは、30分単位で1日最大2時間まで。

眠の新設では、常勤職員と同じく会計年度任用職員も取得期間を子の年齢が12歳になるまで延長すること（1日2時間以内、無休）、今後も引き続き処遇改善に努める、との重要な答弁がありました。

区長は答弁で、「杉並区政を担う常勤職員と会計年度任用職員が働く基盤を安定させ、安心して働く環境をつくることは、私が掲げる『公共の再生』において最重要の取組のひとつであると考えています。」と述べました。

代表質問は以下のQRコード（区議会のHP）からご覧になれます。



田中議員のハラスメント行為 超党派21名が懲罰動議を提出



超党派の議員で懲罰動議を提出



◀田中ゆうたろう議員が議場で威嚇する様子の動画（小池めぐみ区議のXの投稿より）

2月19日、杉並区議会第1回定例会の一般質問中に、田中ゆうたろう議員（杉並をセンタク致し候）が壇上で大声を上げ、机を叩いて大きな音を出すなど、理事者を威嚇する行為がありました。

暴言・威嚇行為から杉並区議会の秩序と品位を守れ

田中議員は、教育問題などについて一般質問をしている最中に、教育長らの席を向いて右手を振り上げ、演台を強く叩き「ふざけるなど言っておきます」と発言し威嚇しました。

当然のことながら、これらは区議会議員としてあるまじき行為であり、明らかにハラスメントに値するものです。議場や傍聴者からも抗議や非難の声が上がり、議事は中断に追い込まれました。

質問直後に議長は田中議員に注意をしています。これまでも田中議員は誹謗中傷や侮辱など、様々な発言で注意を受けていますが、全く改善されないどころかエスカレートしている状況です。

岸本区長は、答弁の前に田中議員に対し、「（傍聴者などが）大きな衝撃と恐怖を感じたのではないか」ときっぱり抗議しています。

懲罰動議は杉並区議会で初

21日、党区議団をはじめとする超党派の21名の議員（共産、立憲、維新・無所属、ネットなど）は、連名で田中ゆうたろう議員に対する懲罰動議を議長に提出しました。

杉並区議会で懲罰動議が出されることは今回が初めてで、今後、懲罰に関する特別委員会の設置に向け協議が行われます。

懲罰には戒告、陳謝、出席停止、除名（最も重い）があります。

市民の反応 マスコミ報道も

SNSでは、市民から「毅然とした区長の対応、本当に涙が出るほどうれいす！」「懲罰動議を支持します」などのコメントが飛び交っています。

新聞各社では赤旗と東京が報道。朝日、毎日、読売、共同通信なども取材をしており、マスコミも注目しています。

議会や区だけでなく、住民とも力を合わせて世論を広げ、あらゆるハラスメントを許さない社会を目指して全力を尽くします。

第37回杉並・中野・渋谷

多喜二祭

3月9日（日）
13時半～
座・高円寺2



参加券 1,500円
日本共産党杉並地区委員会にて扱っています。

あきへの部屋

SNSやデモの主張で、「〇〇解体」というフレーズを見つけたら、私は「ちょっと待って！」と感じる。かつて学生運動で大学の「解体」を掲げる暴力的な団体があったが、必要なのは組織の解体ではなく、その体質改善や民主化なのではないか。

今、財務省解体デモが行われているが、解体したら予算の執行にも差し支えるだろう。情報開示や、国民本位の政策の実現のために財源の確保は政治の責

任でもある。そして、このデモがおかしいと思うのはもう一つ、外国人排除など排外主義的な主張が目立つこと。英国では失業率が高いのは移民のせいだ、との危険な主張があるが、30年もの年金や賃金が上がらない日本でも同じ主張がまかり通っている。権力や差別主義者は世代や国籍で人々を分断し、時には運動をも装って本当の敵を覆い隠す。情報の判断は慎重に、考え学び続けることが大事な時代だ。